

(1) 背景

川崎市内の緑（農地・山林）の約42%が麻生区に集積しており、貴重な資源になっています。その保全については、地域住民やボランティアを中心にした団体が緑の保全管理活動を行っていますが、そういう団体のない手付かずの緑地がまだ多く残っており、健全な緑地の育成のためには、更なる活動が必要な状況です。

また、平成20年度かわさき市民アンケートの結果などから、環境に関する活動に「現在参加している(13.7%)」「今後参加したい(45.2%)」とする方が区民の約60%を占めており、7区の中で一番高い割合を示していることがわかり、これなら緑地保全に市民ボランティアの力を活用できると確信しました。

そこで、区民と協働してこれまで手付かずだった緑地の保全活動を進め、区の特色である緑に対して親しみや愛着を持ってもらう機会にするとともに、活動に参加された方がつながりを持ち、新たな活動が展開されていくことを目指して取り組みを進めました。

(2) 検討経過**① 緑の保全活動に関する勉強会の開催**

平成23年2月17日（財）川崎市公園緑地協会より説明（参加委員6名）

- ・川崎市の緑の現状を把握しました。川崎市は沢山の緑地を買い支えています。その緑地について管理団体のない所も多く、手入れが必要な状況でした。
- ・同協会が実施する緑地保全活動や里山ボランティア講座の説明を受けました。また、「里山ボランティアの組織づくり」に向けて全面協力を得られることになりました。

② 活動参加とヒアリング調査の実施

平成23年2月12日 緑の団体（早野里山ボランティア）の活動に参加（参加委員2名）

- ・既存活動団体の活動実施状況や区民会議の取り組みに対する意見を聞き、その結果第3期区民会議では活動団体のないところについて審議を進めることにしました。

③ モデル事業「里山ボランティア」の実施**【目的】**

区内で緑地保全管理団体のない手付かずの緑地（市有地）を保全すること、また、固定した場所に縛られない管理活動の方法として数か月で数か所のボランティア活動を行い、新たな組織づくりを図ることを目的に里山ボランティアを募集して下草刈りなどを実施しました。

【活動経過】

（ア）里山研修会（（財）川崎市公園緑地協会主催）への参加

平成23年6月26日 高石特別緑地保全地区に（参加委員5名）

- ・作業内容や開催方法などを学び、終了後、モデル事業の実施に向けた候補地の下見。

<注：協会と共催で第1回モデル事業とするはずでしたが、場所が民有地であることから研修会として区民会議委員のみの参加となりました。>



(イ) 候補地選定に向けた勉強会の開催

平成 23 年 7 月 15 日麻生区道路公園センターより説明（参加委員 7 名）

- ・麻生区の緑の現状や管理状況などについて学習しました。（P54 資料 3-12 参照）
- ・区内市有地で初心者でも安全に活動実施できる場所を考慮し、モデル事業実施候補地を 4 箇所（月読神社周辺、栗木緑地、栗木台 5 丁目周辺、高石 4 丁目周辺）選定しました。

(ウ) 候補地の下見の実施と地元調整

平成 23 年 7 月 27 日 前述 4 か所の候補地下見を実施（参加委員 3 名）

- ・区民会議任期の関係から、月読神社周辺と栗木緑地を優先して実施することを決定しました。（選定条件：①特定の活動団体が無い。②傾斜地が少なく初心者でも活動しやすい。③区民の方の利用があり、公共性が高い。）
- ・月読神社周辺実施に際し、下麻生自治会へ挨拶し隣接私有地の所有者へ事業説明を行いました。
- ・栗木緑地実施に際し、栗木町内会役員との打ち合わせを重ね、地元町内会の全面協力を得られることになりました。その後、緊急的必要性により道路公園センターで実施予定地の下草刈りを事前に行うことになり、本事業での実施は中止となりました。これにより数回連続で行うことを目的にしたモデル事業は 1 回のみとなりました。

【実施概要】

実施日：平成 23 年 12 月 10 日（土）午前 10 時～12 時 30 分 晴天

*当初は 12 月 3 日に実施予定でしたが、雨天のため延期

実施場所：月読神社周辺の市有地（下麻生 1 丁目）

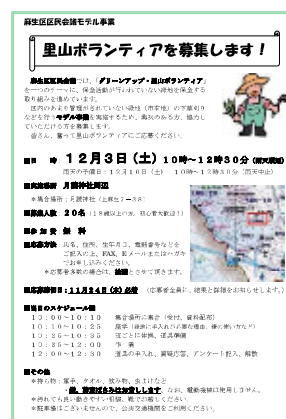
参加者：21 名（公募ボランティア 7 名、区民会議委員 6 名、森林インストラクター 2 名、（財）川崎市公園緑地協会 1 名、事務局ほか 5 名）

募集期間：平成 23 年 10 月～11 月 24 日

*市政だより区版 11/1 号、区ホームページ、募集チラシ配布

作業内容：竹の剪定、枝払い、倒木の整理、廃棄物の撤去など

*作業道具は参加者分（財）川崎市公園緑地協会より無料借用



【参加者アンケート】

ほぼ全員の方が、「作業量はちょうどよかった、もっとやりたかった」「非常に楽しかった、まあまあ楽しかった」という意見で、「同じような催しがあったらまた参加したい、案内してほしい」という意欲的な感想もあり、森がきれいになった体験をみんなで共有できました。

【結果概要】

- ・2 時間半の保全活動でありながら、光を通すような森になり、成果が見て取れました。

- ・参加者からは概ね好評が得られ、また参加したいという意見も多くありました。しかし、1回のみモデル事業実施となってしまった為、継続的に活動を希望する方には、(財)川崎市公園緑地協会から各種事業案内が届くよう依頼し、参加者にはその旨報告の手紙を出しました。これにより新たな取り組みの広がりも期待できます。
- ・今後、同様の取り組みを展開する場合、地元町内会、他の活動団体、行政などと連携を図りながら進めていく必要性は再確認できました。
- ・ボランティアの応募が、募集人数より下回ったことで、広報などに課題が残りました。今後実施するためには、より効果的な募集方法の検討が必要です。
- ・今回のモデル事業は1回のみで終わり、新たな組織の立ち上げまで出来ませんでした。2年間の審議過程を無駄にしないで継続発展させるべく、市民団体「麻生の緑を守る会」に引き継ぎ、「平成24年度麻生区地域課題解決型提案事業」に「麻生区里山ボランティア事業」として採択されました。今後の活動に期待します。



(3) 提言

麻生区の特長である自然環境【緑】(山林・農地)が、宅地開発などで年々減少を続けている事を踏まえ、区内に残された貴重な緑の資源を次世代へと引き継いでいく為の新しい取り組みが急がれます。その為に以下の2点を提言します。

① 地域に限定されない里山ボランティアの構築

地元住民が地元の緑を保全管理していく事への意識が定着し様々な保全管理団体が活躍しています。一方、川崎市が特別緑地指定したにもかかわらず、管理の行き届かない緑地が多くあり、これらを区民・関係機関・行政と協働して保全管理していくシステムづくりを実施し定着させていく必要があります。そこで、地域に限定されない麻生区全体の緑を保全管理していく団体を立ち上げ、次の段階として地元住民へ管理を引き継いでいき保全管理団体も増やしていくようなシステムの構築が必要です。

これにより緑の保全活動を通じた新たなコミュニケーションの場が形成され、地域の絆づくりも深まり、より良い地域社会環境が期待できると思います。

② 「麻生区里山ボランティア」事業の推進

平成24年度麻生区地域課題解決型提案事業に「麻生区里山ボランティア」が取り上げられ、区民会議の調査審議を継続発展する新しい形となりました。これを定着発展させていくことが重要です。

未来のために、あさおの緑を！

【麻生区地域課題解決型提案事業】
麻生区里山ボランティア事業

里山ボランティアを募集します！

川崎市内の緑地の半分を占める麻生区ですが、緑地指定されながら手入れが行き届いていない場所が数多くあります。私たちの暮らす麻生区の貴重な緑地資源を未来の世代へ引き継いでいくことが重要と考え、第3期区民会議の提言を実現させるために「麻生区地域課題解決型提案事業」に応募し採用されました。

区役所と協働し、「麻生区里山ボランティア事業」として川崎市公園緑地協会の協力とインストラクター等の作業指導で月1回下草刈りなどの緑地保全作業を行ってきましたが、今年度最終回となりました。特定の場所ではなく、保管理団体がなくて手入れの行き届かない緑地5か所目です。緑に関心のある方、協力していただける方、是非ご参加ください。(次年度も申請)



■日 時：**2月24日(日) 9時30分～12時**

午後はハーフティー&サンドイッチで交流会！ **12時00分～13時**

※交流会は自由参加です。参加者のみ 会費 300円

★雨天の場合：2月25日(月) 9時30分～(雨天中止)

ふるさわつこりょくち
■実施場所：川崎市所有地の**古沢都古緑地** (麻生区古沢 255-8)

★集合場所：麻生区道路公園センター(古沢 120) <駐車可能>

■募集人数：30名(中高生も歓迎)

★インストラクター等が指導してくれますので、初心者でも安心ですし、ベテランの研修にもなります。

■参加費：無料

■応募方法：電話、FAXまたはEメールで

■応募締切日：2月21日(木)まで先着順

★当日参加も可能ですが、道具の準備がありますので、事前申し込みをお願いします。

■その他

*持ち物：軍手、タオル、帽子、飲み物、道具(剪定ばさみ、のこぎり)など

★道具のない方は、お貸しします。なお、動力機械は使用しません。

*汚れても良い動きやすい服装(長袖、長ズボン)、靴でお越しくください。



■主催：麻生の緑を守る会

協力：第3期区民会議委員有志

■「里山ボランティア」当日のスケジュール



- 9 : 30 集合、受付
- 9 : 30 ~ 9 : 40 挨拶、作業説明など
- 9 : 40 ~ 9 : 50 班ごとに体操、道具準備の後現地へ移動
- 9 : 50 ~ 11 : 30 作業 終了後道路公園センターに移動
- 11 : 40 ~ 12 : 00 道具の手入れ、感想・質疑応答、解散
- 12 : 00 ~ 13 : 00 ハーブティー&サンドイッチで交流会
(午後は自由参加：会費 300 円)

おしらせ

“あさお 緑の討論会”

建設緑政局鈴木緑政部長を囲み、あさおの緑について一緒に考えましょう！

日時 25年3月2日
(土) 13:30~15:30

場所：麻生区役所会議室
定員：50名（無料）
申込：麻生区役所企画課へ
内容：
・川崎市緑の基本計画と現状についての講演
・麻生区の状況、事例紹介
・事業報告、意見交換など



第9回 里山ボランティア申込用紙

※FAXで申し込みの場合は、本用紙をご利用ください。

【申込先】麻生区役所企画課 ☎ 044-965-5112 Fax 044-965-5200

E-mail 73kikaku@city.kawasaki.jp

【問い合わせ先】麻生の緑を守る会・勝田 ☎ 080-6671-7351

※当日参加の申込、悪天候時の実施の有無につきましてもこちらまで

【応募締切日】平成25年2月21日(木)

(ふりがな)		★当イベントを何でお知りになりましたか？
氏名		・市政だより ・タウン誌 ・町会回覧 ・ホームページなど ・その他()
住所	〒	★午後の交流会参加有無(該当に○) ・交流会に参加します ・午後は参加しません
電話番号	—	—
FAX番号	—	—
E-mail		

*ボランティア保険にのみ加入をします。ご提供頂いた個人情報は、本事業以外の目的では使用しません。

麻生区地域課題解決型提案事業

麻生区里山ボランティア

参加者大募集！
待ってま〜す

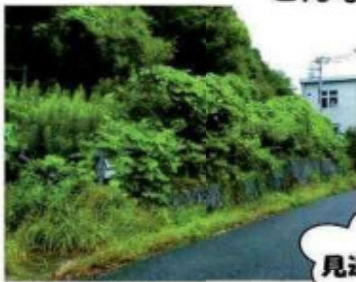
第4日曜日
9時半〜12時

里山ボランティア



緑の保全活動を通じて 地域の絆を広げよう

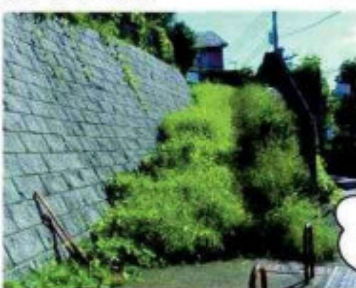
こんなにきれいになりました！



栗木緑地の作業



見違えるように！



千代ヶ丘西久保緑地の作業

階段出現！

活動予定

- ・毎月の保全活動
- ・森の観察会、剪定講座
- ・クラフト教室、研修会
- ・講演会(麻生区の緑) など

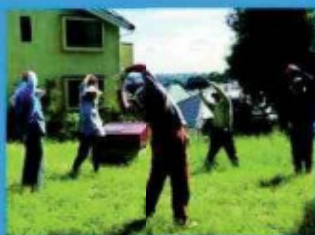
活動候補地

- ・五力田みはらし緑地
- ・王禅寺源内谷緑地
- ・東百合丘4丁目緑地
- ・高石特別緑地保全地区
- ・月読緑地 他

子どもからお年寄りまでどなたでも参加出来ます

お問い合わせ

麻生区役所企画課 ☎965-5112



①挨拶&体操 →



②インストラクターの作業説明 →



③作業(鎌を使って)



道具は貸し出します

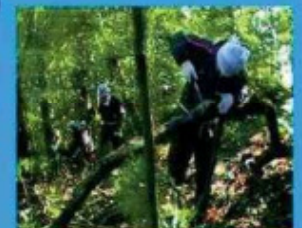
里山保全活動の一日
みんなで いい汗！



⑥作業後の交流会



⑤道具の手入れ ←



④作業(のこぎりを使って)

服装：動きやすい格好、
夏でも長袖長ズボン、帽子
持ち物：タオル、軍手、飲み物

麻生区の

大切な緑地を私たちの手で未来に 次世代の子どもたちのために

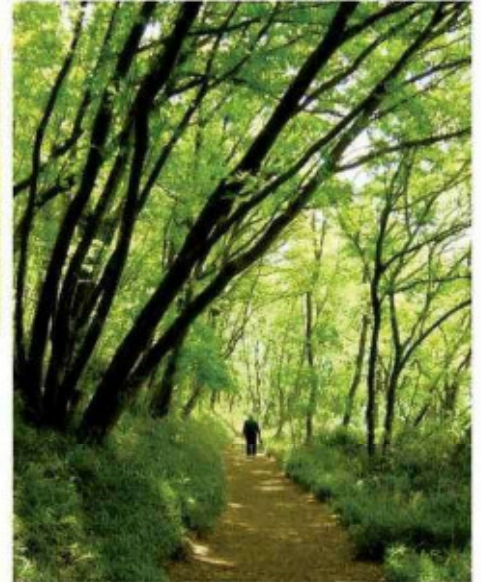
麻生区の里山は貴重な財産です。



早野の里



黒川田園風景



多摩自然遊歩道

緑が失われていく今、川崎市は緑地を残そうと買い支えています。そのような緑地でも、管理・保全する人がいなければ、すぐに荒れ放題。こんな状態になってしまいます。



麻生区

里山ボランティア

いい汗かいて自然と共生！



今こそあなたの出番！

あなたの参加が麻生の緑をまもりまします。自然をまもり親しむことにより、豊かな自然と共生できるのです。

麻生区の緑地の推移



〈麻生区里山ボランティア事業の趣旨と現状〉

都市化が進み緑の少なくなった川崎にあって、市内の半分の緑地を有する麻生区の緑は貴重です。しかし、緑地指定されながら手入れが行き届いていない所が数多くあります。

私たちの暮らす麻生区の貴重な緑地資源を未来まで引き継いで行くことが重要と考え、公園緑地協会の支援をいただき、区役所と協働で本事業を立ち上げました。管理団体がなく手入れが必要な緑地に対し、インストラクターの指導の下、月1回下草刈りなどの保全作業や研修会を行っています。

この活動が麻生区に根付き、発展継続するよう、ひいては当該緑地の保全団体の立ち上げや地域の絆づくりに繋がればと思っています。

2012.10